

<p>【技術の名称】 前田式柱SRC梁S工法 [MaC工法]</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第01-09号 性能証明発効日：2001年9月4日</p>
	<p>【取得者】 前田建設工業株式会社</p>

【技術の概要】

本技術は、小断面の鉄骨柱を内蔵した鉄骨鉄筋コンクリート柱とH形鋼梁よりなる混合構造の骨組を構築するための工法である。本工法では、流し込み成形法により製作した外殻状のプレキャストコンクリート材の内側に現場打ちコンクリートを充填した外殻PCa柱を用いることを原則としている。その場合であっても多層一節の鉄骨柱の同時建方を可能にするために、H形鋼梁端部継手部を柱梁接合部内に配置するところに本工法の特徴がある。その際、はさみプレートと称する接合プレートをH形鋼梁端部に取り付け、このプレートと柱梁接合部内に配置した仕ロプレートがファスナーによって接合される。ファスナーには、丸鋼を二つ割したくさび材をはさみプレートの両側から差し込む形式と高力ボルトを用いる形式とがある。

【技術開発の趣旨】

従来の鉄筋コンクリート柱と鉄骨梁からなる混合構造では、柱梁接合部に取り付いた梁端部と梁材との現場接合による継手部が梁の内のりスパン内に配置されている。本技術は、その点を改良したものであって、工期の短縮、施工費用の低減などを意図して開発されている。

【性能証明の内容】

本技術について性能証明を行った結果は、以下の通りである。

本工法による柱梁接合部および外殻PCa柱については、申込者提出の設計指針で提示している使用限界時、損傷限界時および終局限界時の耐力ならびに変形がそれぞれの限界時に応じて設定された要求性能を満足していると判断される。

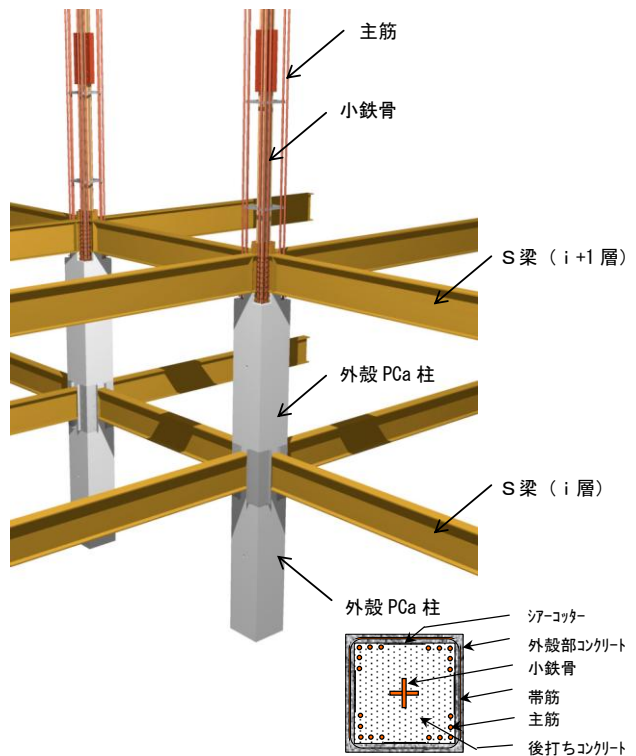


図1. 架構概念図

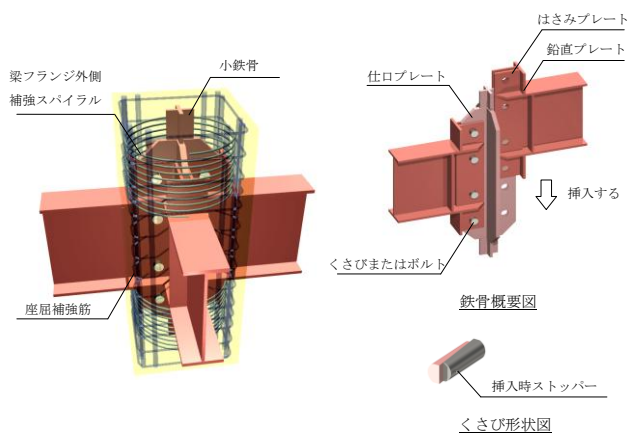


図2. 柱梁接合部概念図

【本技術の問合せ先】

前田建設工業株式会社

担当者：成瀬 忠

E-mail：tnaruse@jcity.maeda.co.jp

〒101-0064 東京都千代田区猿楽町 2-8-8 猿楽町ビル

TEL：03-5217-9542 FAX：03-5217-9641